

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 東松島市

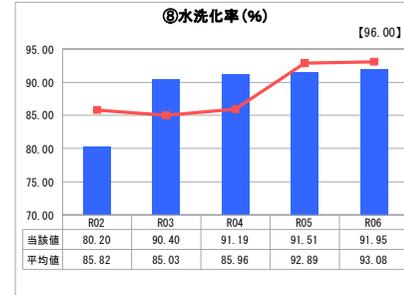
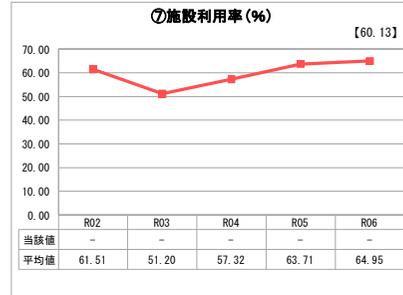
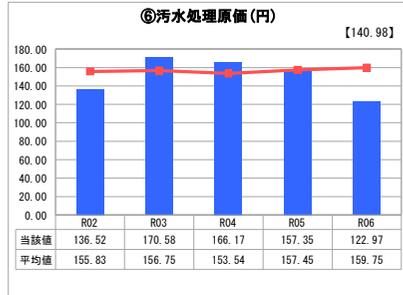
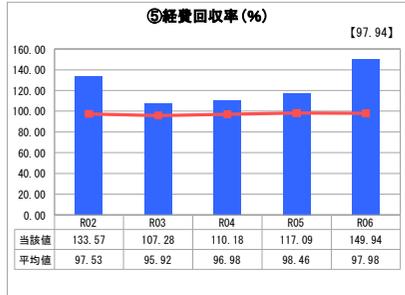
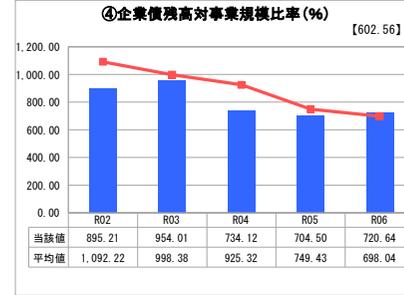
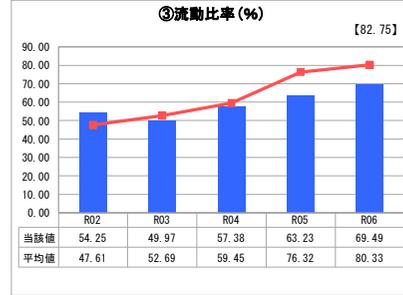
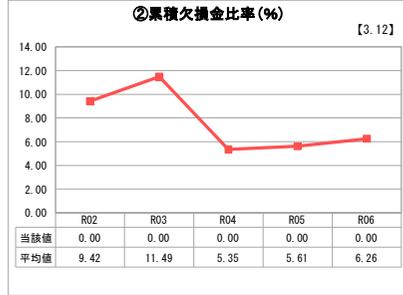
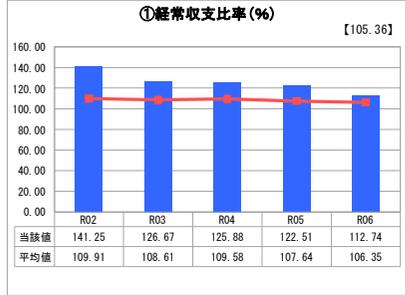
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.21	84.50	96.75	3,575

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,875	101.30	373.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
31,854	8.87	3,591.21

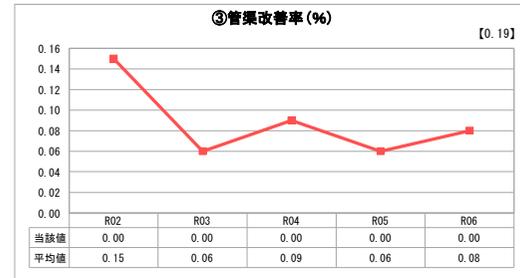
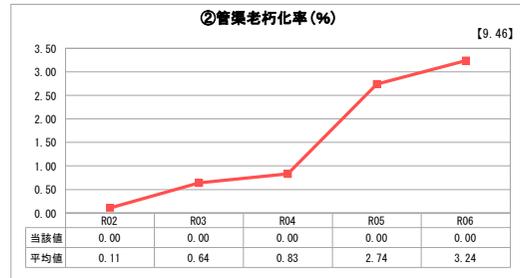
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
前年度と同様に100%を超えており、経営の健全性は保たれている。今後も健全な経営を維持していくためにも、維持管理経費の削減に努めていく。
- ②累積欠損金比率
前年度と同様に100%を下回っており、類似団体平均値も下回る水準となっている。企業債償還金が負債の大半を占めていることが要因であり、今後は企業債残高の減少による改善が見込まれる。
- ③流動比率
前年度から若干数値が上がっている。要因は雨水負担金額が上昇したことによるものである。今後も改築更新事業などを計画的に進め企業債残高対事業規模比率の減少に努めていく。
- ④企業債残高対事業規模比率
前年度に比べ増加している。要因は污水处理費の減少に伴うものである。引き続き使用料収入の増額と経費削減に努めていく。
- ⑤経費回収率
前年度に比べ減少している。要因は污水处理費の減少に伴うものであるが、今後の更新に伴う污水資本費等の増加が懸念されるため、引き続き経営の効率化などによる適正な水準の維持に努めていく。
- ⑥汚水処理原価
前年度と比較してほぼ横ばいであり、類似団体平均値と同水準となっている。今後も継続して普及啓発事業等により接続推進に努め、水洗化率の向上に努めていく。
- ⑦施設利用率
前年度と比較してほぼ横ばいであり、類似団体平均値と同水準となっている。今後も継続して普及啓発事業等により接続推進に努め、水洗化率の向上に努めていく。
- ⑧水洗化率
前年度と比較してほぼ横ばいであり、類似団体平均値と同水準となっている。今後も継続して普及啓発事業等により接続推進に努め、水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却
類似団体平均値を下回っているが増加傾向にある。
- ②管渠老朽化率及び③管渠改善率
污水に係る事業については、平成5年度から実施しており、管渠については耐用年数の半分が経過している状況にあることから、中継ポンプを中心に改築更新等を随時行っている。
今後も適正な管理を徹底し、計画的な更新を行っている。

全体総括

人口減少による下水道使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う修繕費用の増大等、今後、経営環境がより厳しくなることが想定される。
このため、経営戦略及びストックマネジメント計画に基づいた長期的な計画のもと、適正な使用料の検証や施設に係る効率的な更新事業を実施し、健全な経営が維持できるよう努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。